
犯人は？ニホンイシガメを急激に減少させる外来種と緩やかに減少させる外来種

西堀智子^{1, 2}・加賀山翔一²・松本健二^{1, 2}・長谷川雅美^{1, 2}

¹171-0032 東京都豊島区雑司ヶ谷 1-24-12 爬虫両生類情報交換会

²274-8510 千葉県船橋市三山 2-2-1 千葉県ニホンイシガメ保護対策協議会

What is the culprit? Invasive species causing rapid decline and slow decline of the Japanese pond turtle.

By Tomoko NISHIBORI^{1,2}, Shawichi KAGAYAMA², Kenji MATSUMOTO^{1,2}, and Masami

HASEGAWA^{1,2}

¹*Reptile and Amphibian Information Networking Group, 1-24-12 Zoshigaya, Toshima-ku, Tokyo 171-0032, Japan*

²*Conservation Activity Council of the Native Freshwater Turtles in Chiba Prefecture, 2-2-1 Miyama, Funabashi, Chiba 274-8510, Japan*

今回発表した内容は、既に日本爬虫両棲類学会の「爬虫両棲類学会報」2024 (1) において、以下のタイトルで発表したものの一部を紹介したものである。詳細は論文を参照されたい。

長期調査から見えるニホンイシガメ減少の実態 ～爬虫両生類情報交換会「南房総イシガメ観察会」が語るもの

生物多様性に配慮した公園でニホンイシガメを守る ～井の頭池の取り組み～

八木 愛

180-0013 東京都武蔵野市西久保 3-8-16 アンダンテ武蔵野 106 認定 NPO 法人 生態工房

Conservation for *Mauremys japonica* in the park: work on Inokashira Pond.

By Ai YAGI

NPO Eco-Works, 3-8-16-106, Nishikubo, Musashino, Tokyo 180-0013, Japan

都立井の頭恩賜公園にある井の頭池 (4.2ha) は湧水を水源とする自然池沼である。水生昆虫や水草が豊富なことで戦前から知られていたが、1960 年代以降の湧水量の減少や、公園管理の変遷の中で生物多様性が低下した。2010 年代以降は、かいぼりを軸とした自然再生の取組によって

環境の改善が進みつつある。近年に行われた一連の取組のうち、ニホンイシガメとの関連が深い「水域-陸域の移行帯の再生」について報告する。井の頭池は池岸の全周に護岸が整備されており、岸付近で約 1 m の水深がある。護岸によって、汀線付近の移行帯の喪失や、水域-陸域間を利用